

申請情報

1. 申請年度

2024

2. 申請区分

更新確認申請（昨年度、機関要件を満たしていた。）

3. 設置者に関する情報

設置者の法人類型	学校法人
設置者の名称	学校法人栗岡学園
設置者の主たる事務所の所在地	大阪府四條畷市田原台6-1-1
設置者の代表者の役職	理事長
設置者の代表者の氏名	栗岡 隆顕

4. 大学等に関する情報

大学等の種類	私立専門学校
大学等の名称	奈良リハビリテーション専門学校
大学等の所在地	奈良県生駒市東生駒1-77-3
学長又は校長の氏名	栗岡 英行

5. 申請書を公表する予定のホームページアドレス

<https://www.nara-reha.ac.jp/>

確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

学校名	奈良リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人栗岡学園

1. 高等教育の修学支援新制度の対象となる学部等

分野	課程名	学科名	修業 年限	昼夜	時間制 単位制
医療	医療専門課程	理学療法学科	3年	昼間	単位制
(上記学科のうち、募集停止や完成年度到達前の学部等)					

2. 支援対象者が在籍できない学部等

分野	課程名	学科名	理由

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※ 専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	奈良リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人栗岡学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	112 単位	9単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

入手方法：本校事務局への請求により一覧表の配布・閲覧可
ホームページにて公開 (www.nara-reha.ac.jp/johokokai.html)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の1-②関係【実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》】

学校名	奈良リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人栗岡学園

学科名	理学療法学科		
実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	
教育学	1 単位	9単位	
生化学	1 単位		
統計学	2 単位		
情報処理	1 単位		
英語 I	1 単位		
英語 II	2 単位		
保健体育	1 単位		
コミュニケーション学	2 単位		
解剖学 I	4 単位		
解剖学 II	2 単位		
生理学 I	2 単位		
生理学 II	3 単位		
基礎運動学 I	2 単位		
基礎運動学 II	2 単位		
人間発達学	1 単位		
単位数又は授業時数の合計			27 単位

学科名		
実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数
病理学	1 単位	
医学概論	1 単位	
内科学	2 単位	
神経科学	2 単位	
整形外科学	2 単位	
小児科学	1 単位	
臨床心理学	1 単位	
臨床医学Ⅱ	1 単位	
臨床医学Ⅲ	1 単位	
リハビリテーションⅠ	1 単位	
リハビリテーションⅡ	1 単位	
保健医療福祉関係論	2 単位	
理学療法概論	2 単位	
臨床運動学	2 単位	
理学療法障害学Ⅰ	1 単位	
単位数又は授業時数の合計	21 単位	

学科名		
実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数
理学療法障害学Ⅱ	2 単位	
理学療法研究概論	1 単位	
理学療法管理学	2 単位	
理学療法評価総論Ⅰ	2 単位	
理学療法評価総論Ⅱ	2 単位	
理学療法評価各論Ⅰ	1 単位	
理学療法評価各論Ⅱ	1 単位	
理学療法評価演習	1 単位	
動作分析学Ⅰ	1 単位	
動作分析学Ⅱ	1 単位	
基礎運動療法学	3 単位	
運動療法学Ⅰ	1 単位	
運動療法学Ⅱ	2 単位	
運動療法学Ⅲ	1 単位	
物理療法学Ⅰ	1 単位	
単位数又は授業時数の合計	22 単位	

学科名		
実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数
物理療法学Ⅱ	1 単位	
義肢学	2 単位	
装具学	1 単位	
日常生活活動学総論	1 単位	
日常生活活動学各論	1 単位	
理学療法治療各論Ⅰ	1 単位	
理学療法治療各論Ⅱ	1 単位	
理学療法治療各論Ⅲ	1 単位	
理学療法治療各論Ⅳ	1 単位	
理学療法治療各論Ⅴ	1 単位	
理学療法治療各論Ⅵ	2 単位	
理学療法治療各論Ⅶ	1 単位	
理学療法治療各論Ⅷ	1 単位	
理学療法治療演習	1 単位	
生活環境論	1 単位	
単位数又は授業時数の合計	17 単位	

学科名		
実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数
地域理学療法学	1 単位	
地域サービス技術論	1 単位	
見学実習	1 単位	
評価実習	5 単位	
総合臨床実習	15 単位	
卒業課題	2 単位	
	単位	
	単位	
	単位	
	単位	
	単位	
	単位	
	単位	
	単位	
	単位	
単位数又は授業時数の合計	25 単位	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	奈良リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人栗岡学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公開
(www.kuriokagakuen.ac.jp/johokokai.html)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	歯科医院 院長	2021.7.15 ~ 2026.7.14	民間の視点からの適正な学校運営の指導・助言
非常勤	社会福祉法人 事務長	2021.7.15 ~ 2026.7.14	民間の視点からの適正な学校運営の指導・助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	奈良リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人栗岡学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当該年度の授業計画の校長・副校長・学科長・主任・各学年担任による確認・評価 2. 教科担当決定・シラバス執筆依頼 3. 原稿提出 4. 新年度授業計画(シラバス)の各学年担任による原稿の確認 5. 授業計画原案を校長・副校長・学科長・主任に報告・確認 6. 完成・公表(当該年度の開講前の3月中) 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>本校事務室への請求により印刷物の配布・閲覧可 ホームページにて公開 (www.nara-reha.ac.jp/johokokai.html)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の評価については、シラバスに示している当該科目の「学生の到達目標」に基づいて、期末に試験を実施し評価する。学外における実習科目については、実習機関における評価を参考にして学校が評価に当たっている。 試験及び実習の評価は優(80点以上)・良(70点以上80点未満)・可(60点以上70点未満)・不可(60点未満)をもって表し、可以上を合格とする。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

公平性と透明性を確保し、統一した基準で、かつ国際的に通用する基準を用いるため、本校ではGPA (Grade Point Average) 制度を用いた成績評価を行います。修学指導や優秀な学生の表彰等に利用します。GPAは、以下の方法で算出します。

(a) GPA の対象となる授業科目

以下の適用除外科目以外の登録されたすべての授業科目をGPAの対象とします。

- ① 合格か不合格かだけを判定する科目
- ② 編入学又は転入学した際の単位認定科目
- ③ 本学入学前に修得した単位認定科目
- ④ 他大学との単位互換等で修得した科目

(b) 成績評価の評定記号と付加するグレード・ポイント (GP)

成績評価は点数方式で行い、以下の評定記号 (優～可) の区分に応じたGPを算出します。

(c) GPAの算出方法

GPA値は、対象授業科目のうち、履修登録した科目について、それぞれの単位数にグレード・ポイント (4, 3, 2, 1, 0のいずれか) をかけ、その合計ポイント (GPS) を、それぞれの単位数の総和で割った数値です。

評価区分評定記号GP

100～90点優A

89～80点優B

79～70点良

69～60点可

59～0点不可

単位認定認定

$$\left[(4.0 \times \text{「100～90点」の単位数} + 3.0 \times \text{「89～80点」の単位数} + 2.0 \times \text{「79～70点」の単位数} + 1.0 \times \text{「69～60点」の単位数} \right) / \text{受験済科目の総単位数 (「不可」の単位数を含む)}$$

*単位認定は、算出の対象としません。

*小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までの数値で、成績通知書に記載します。

成績証明書…… 成績証明書発行時点におけるGPA値

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページにて公開
(www.nara-reha.ac.jp/johokokai.html)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

1. 豊かな人間性を養い、有能にして広く社会の要請に応え得る理学療法士をする」との本校の教育理念及び教育目標に基づき、3年制専門学校としての特長を生かし、最短の年限で、リハビリテーション医療を担う専門職としての社会に質の高い理学療法士を養成する。

2. 理学療法士として必要不可欠な知識や専門的技術及び技能の修得を図るとともに、コミュニケーション能力や協調性などを培うなか、基本的な理学療法については独立して実施できることを到達目標とし、即戦力となる実践力ある人材を育成するとともに、高度・多様化する保健医療福祉分野を担う探求心と向上心を備えた人材を育成し、広く社会の医療・福祉に寄与できる人材を育成する。

【学則 第五節 第27条】

(卒業の認定)

① 学校長は、所定の科目の単位認定を受けた者について、運営会議の議を経て卒業の認定を行う。

② 卒業の認定を受けた者には、文部科学大臣による告示により専門士(医療専門課程)の称号を付与する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

R6学生便覧 (P. 5) 及びホームページにて公開
www.nara-reha.ac.jp/johokokai.html

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※ 専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	奈良リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人栗岡学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	www.kuriokagakuen.ac.jp/johokokai.html
収支計算書又は損益計算書	www.kuriokagakuen.ac.jp/johokokai.html
財産目録	www.kuriokagakuen.ac.jp/johokokai.html
事業報告書	www.kuriokagakuen.ac.jp/johokokai.html
監事による監査報告（書）	www.kuriokagakuen.ac.jp/johokokai.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	117	81	2	21	0	13
			単位	単位	単位	単位	単位
		単位	117 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		84人	0人	6人	24人	30人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）
1. 当該年度の授業計画の校長・副校長・学科長・主任・各学年担任による確認・評価 2. 教科担当決定・シラバス執筆依頼 3. 原稿提出 4. 新年度授業計画（シラバス）の各学年担任による原稿の確認 5. 授業計画原案を校長・副校長・学科長・主任に報告・確認 6. 完成・公表（当該年度の開講前の3月中）
成績評価の基準・方法
（概要）
授業科目の評価については、シラバスに示している当該科目の「学生の到達目標」に基づいて、期末に試験を実施し評価する。学外における実習科目については、実習機関における評価を参考に学校が評価に当たっている。 試験及び実習の評価は優（80点以上）・良（70点以上80点未満）・可（60点以上70点未満）・不可（60点未満）をもって表し、可以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）
理学療法士及び作業療法士並びに理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則を遵守し、学則 第四節に定める教育課程（理学療法学科にあつては基礎分野14単位、専門基礎分野34単位、専門分野69単位：合計117単位）における授業科目の単位を取得した者に対し、学則 第五節卒業等並びに授業科目に関する規定に従い卒業を認定する。

学修支援等
(概要)
<p>前期・後期に実施している学生面談により、生活状況・学習状況を把握した上で指導している。</p> <p>全学年を通じて、カリキュラム外で国家試験対策を講じている。</p> <p>一年生：学習習慣の確立（早朝テスト、課題提出期限のチェック等）</p> <p>二年生：臨床実習を想定した対策（実技を中心に）</p> <p>三年生：国家試験対策、臨床に出る直前に備えておくべき理学療法士として心構え・知識・技術を提示している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人	0人	24人	2人
(100%)	(0.0%)	(92.3%)	(7.7%)
(主な就職、業界等)			
奈良県・大阪府・京都府の病院や高齢者施設			
(就職指導内容)			
ビジネスマナー研修の受講・就職先施設の紹介・模擬面接・履歴書添削			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
理学療法士国家資格受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
90人	8人	8.9%
(中途退学の主な理由)		
進路変更・学習意欲の低下		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
多くの面談や、臨床心理士によるカウンセリングを積極的に活用している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科	350,000円	760,000円	510,000円	R5.4入学生より ※その他の内訳 施設設備充実費 200,000円 実習教材費 310,000円
理学療法学科	300,000円	760,000円	500,000円	現3年生のみ(旧学費) ※その他の内訳 施設設備充実費 200,000円 実習教材費 300,000円
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ●特別学費支援制度 (留年生が継続的に登校して勉学に励むことを条件に、後期の学費を減免する制度) ●家族割引制度 (二親等以内の親族が関連校を卒業、もしくは在学している場合、入学金の一部を免除する制度) 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
ホームページにて公開 https://www.nara-reha.ac.jp/pdf/johokokai/jikohyoka.pdf		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
自己評価結果の客観性・透明性を高めるため、学外関係者による「学校関係者評価委員会」を設置し、学校関係者評価を実施する。 ○主な評価項目：教育、施設、学生サービスなど。 ○評価委員の定数：5名以上 ○評価委員の選出区分：卒業生、企業関係者、高校関係者、地域住民、教育関連有識者など ○評価結果の活用方法：学校運営等の改善に活用する。評価結果ならびに改善策の公表についてはホームページ（www.nara-reha.ac.jp/johokokai.html）にて公表。また学校関係者評価の責任者は学校関係者評価委員会の委員長とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
医療法人和幸会 阪奈中央病院 院長 米澤 泰司	2024. 4. 1 ~ 2026. 12. 31	企業関係者
奈良県専修学校各種学校連合会 会長 大原 敏敬	2024. 4. 1 ~ 2026. 12. 31	教育関連有識者
学校法人興国学園 興国高等学校 校長補佐 宮野 博	2024. 4. 1 ~ 2026. 12. 31	高校関係者
医療法人和幸会 パークヒルズ田原苑 看護部長 前原 園代	2024. 4. 1 ~ 2026. 12. 31	地域住民
医療法人和幸会 阪奈中央病院リハビリ部 部長 川原 勲	2024. 4. 1 ~ 2026. 12. 31	企業関係者
医療法人和幸会 阪奈サナトリウム 師長 酒井 真紀	2024. 4. 1 ~ 2026. 12. 31	卒業生
医療法人和幸会 阪奈中央病院 谷川 優香	2024. 4. 1 ~ 2026. 12. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
ホームページにて公開 https://www.nara-reha.ac.jp/pdf/johokokai/school-hyoka.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		
一般社団法人リハビリテーション教育評価機構		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
www.nara-reha.ac.jp

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	奈良リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人栗岡学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		8人	8人	8人
内訳	第Ⅰ区分	5人	4人	
	第Ⅱ区分	3人	4人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				8人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期		後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人		
G P A等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	奈良リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人栗岡学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		－	－	－
内訳	第Ⅰ区分	－	－	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				－
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。